

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	91
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
同上。(上端主筋：2/2-D22)	



令和5年2月17日	
NO	92
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
FG 1 1 B (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋：D13@100mm)	




令和5年2月17日	
NO	93
場所	B X 1 通り
部位	FG 1 1 B (基礎梁)
前回 (CD棟の基礎配筋検査時) 指摘したようなせん断補強筋の下がりは生じていない状況であることを確認。	

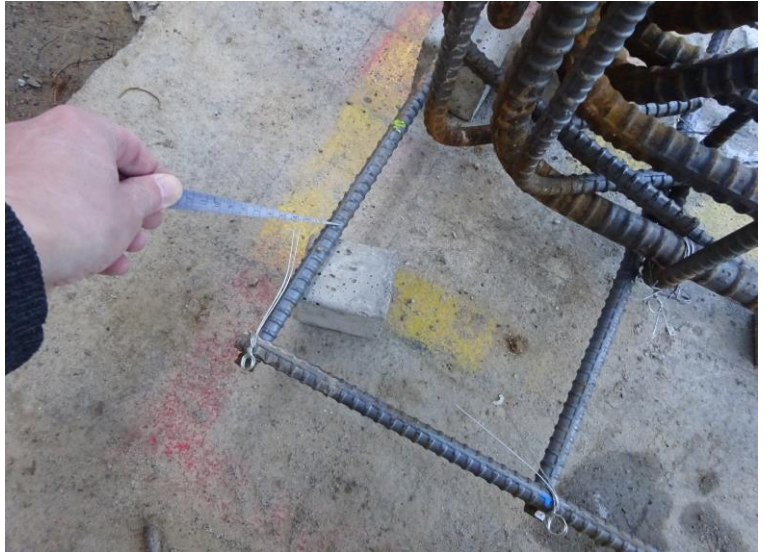


現況検査により認められる状況の記録

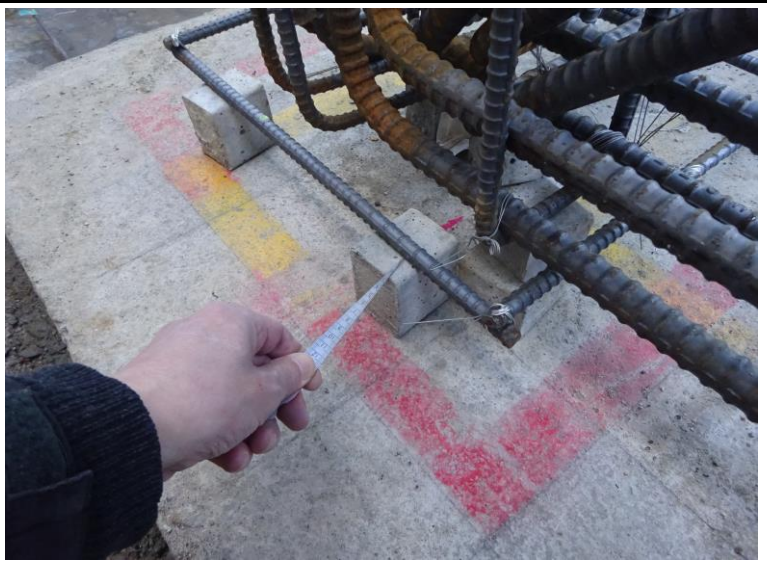
令和5年2月17日	
NO	94
場所	基礎フーチング端部
部位	ベース筋
<p>前回（CD棟の基礎配筋検査時）指摘したような基礎フーチング端部のベース筋の不足箇所がないことを全般的に確認。</p>	
	



令和5年2月17日	
NO	95
場所	基礎フーチング端部
部位	ベース筋
<p>同上。</p>	
	




令和5年2月17日	
NO	96
場所	基礎フーチング端部
部位	ベース筋
<p>同上。</p>	
	




現況検査により認められる状況の記録

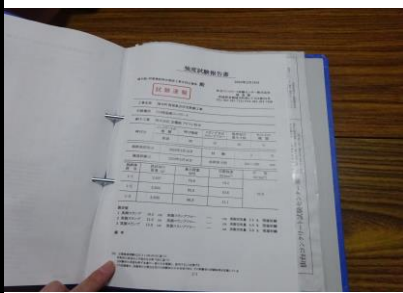
令和5年2月18日	
NO	97
場所	CD棟
部位	壁立上がり筋
CD棟の壁立上がり筋の施工状況。	




令和5年2月18日	
NO	98
場所	CD棟
部位	壁立上がり筋
1階の壁が存在する箇所には、計画通りの壁立上がり筋（基礎躯体への定着長さ：L2、FL上部の定着長さ：L1）が設置されていることを全般的に確認。	




令和5年2月18日	
NO	99
場所	CD棟
部位	基礎フーチング
CD棟基礎フーチング部のコンクリートの圧縮強度が、型枠残置用の圧縮強度試験報告書により昭和46年建設省告示第110号の規定（5N/mm ² 以上）となっていることを確認。	



30	15	20	N
3日	材 齢		3 日
6日	供試体寸法		100×200 mm
最大荷重 (kN)	圧縮強度 (N/mm ²)	平均 (N/mm ²)	
79.8	10.2	10.6	
83.5	10.6		
86.8	11.1		
ブフロー	—	cm 実測空気量 5.5 %	現場封緘
ブフロー	—	cm 実測空気量 4.0 %	現場封緘
ブフロー	—	cm 実測空気量 3.8 %	現場封緘

宮城県多賀城市町
 TEL: 022-253-7123 F
 http://www.sendai-
 クリート試験センター(株)

現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月18日	
NO	100
場所	CD棟
部位	基礎フーチング
CD棟基礎フーチング部のコンクリートの打ち上がり状況。特に凍害などによる影響は生じていないことを確認。	



令和5年2月18日	
NO	101
場所	CD棟
部位	基礎フーチング
同上。	



令和5年2月18日	
NO	102
場所	基礎フーチング
部位	採暖養生
採暖養生用の練炭コンロが現場に用意されていることを確認。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月17日	
NO	103
場所	基礎フーチング
部位	採暖養生
A B棟基礎フーチングのコンクリート打設時に使用する採暖養生用の練炭が現場事務所に搬入されていることを確認。	



令和5年2月17日	
NO	104
場所	外壁面出隅部
部位	使用部材
外壁面出隅部のピン角が適切に成形されるよう打ち放し用型枠（パネコート）の取り付け部に張りつけるR Aテープが用意されていることを確認。	



令和5年2月17日	
NO	105
場所	敷地北東部
部位	ヒューム管
敷地北東部の隣地境界線付近に埋設されているヒューム管の状況。CD棟の基礎梁コンクリート打設時に措置が行われることを確認。	

